

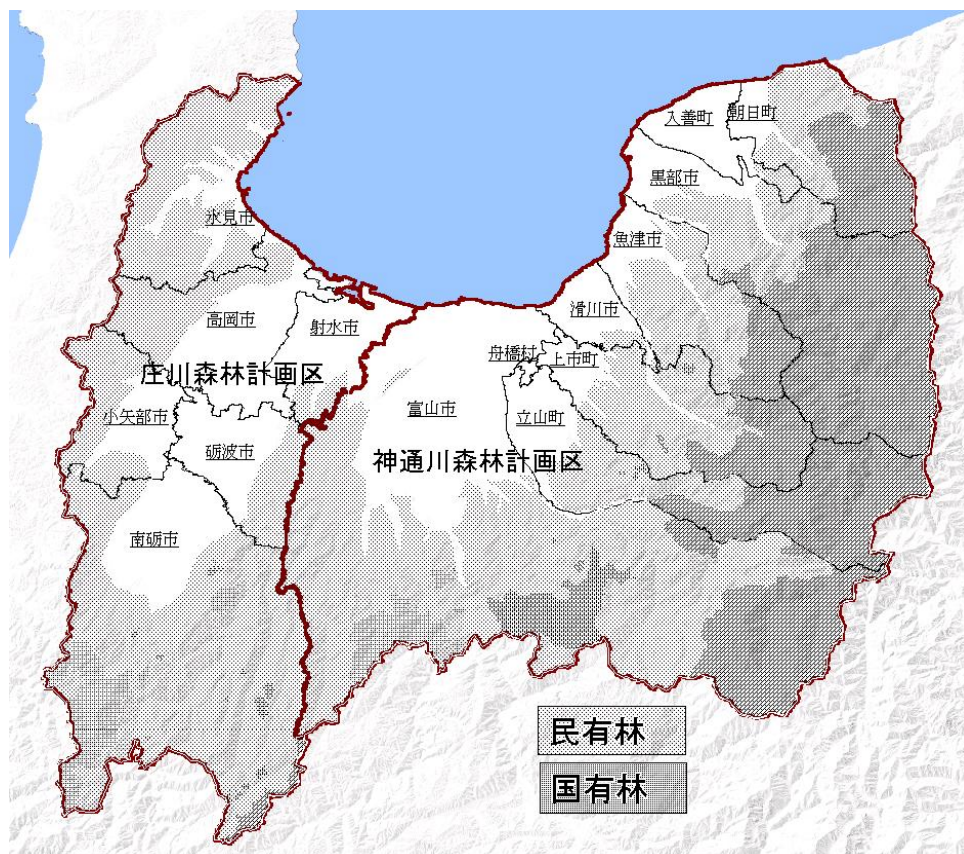
富山県森林審議会総会 参考資料

- ・ 富山県の森林・林業の現況 P 1
- ・ 平成19年度 水と緑の森づくり事業の実績と評価 P 9
- ・ 平成20年度 水と緑の森づくり事業の実施状況 P18

富山県の森林・林業の現況

1. 本県森林の現況

(1) 本県の森林計画区



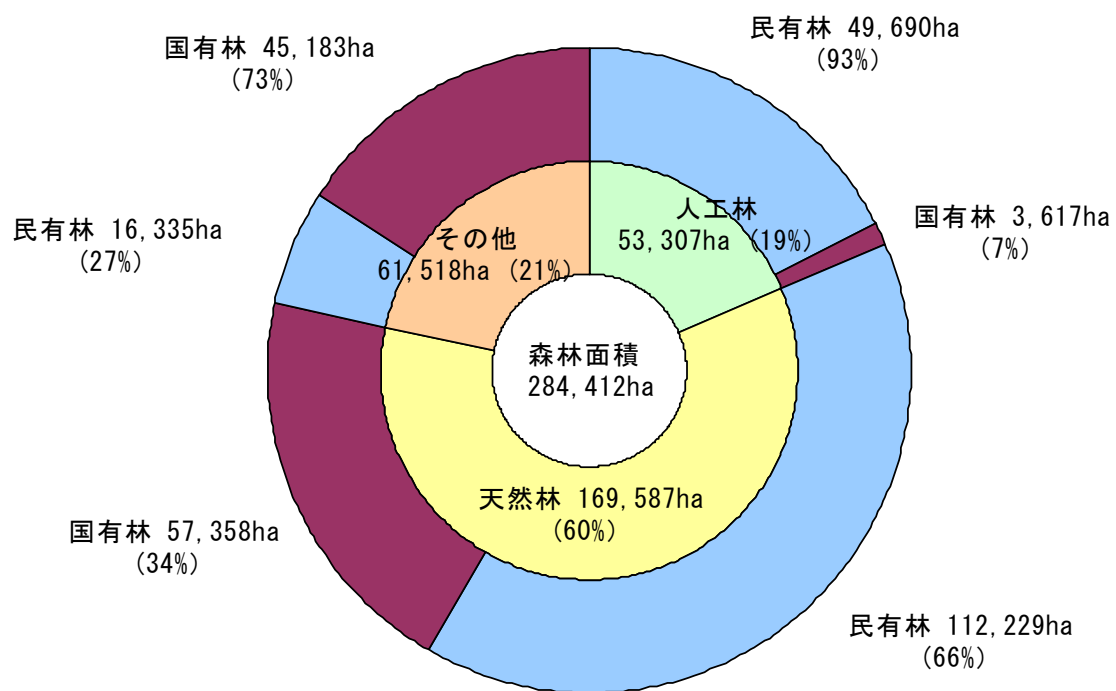
庄川森林計画区

高岡市（旧高岡市 旧福岡町）、氷見市、砺波市（旧砺波市 旧庄川町）、小矢部市、南砺市（旧城端町 旧平村 旧上平村 旧利賀村 旧井波町 旧井口村 旧福野町 旧福光町）、射水市（旧小杉町 旧大門町）

神通川森林計画区

富山市（旧富山市 旧大沢野町 旧大山町 旧八尾町 旧婦中町 旧山田村 旧細入村）、魚津市、滑川市、黒部市（旧黒部市 旧宇奈月町）、上市町、立山町、入善町、朝日町

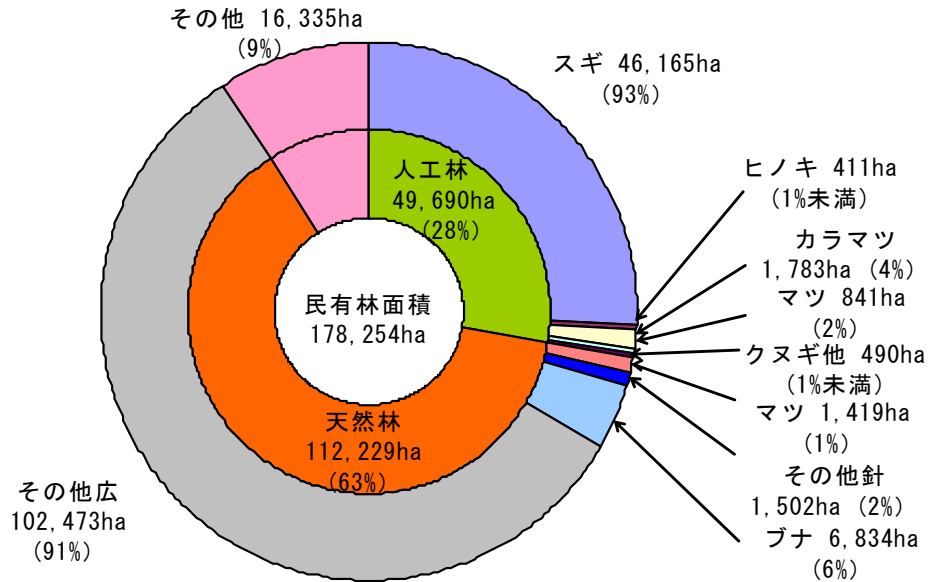
(2) 本県の森林面積



(平成19年3月31日現在)

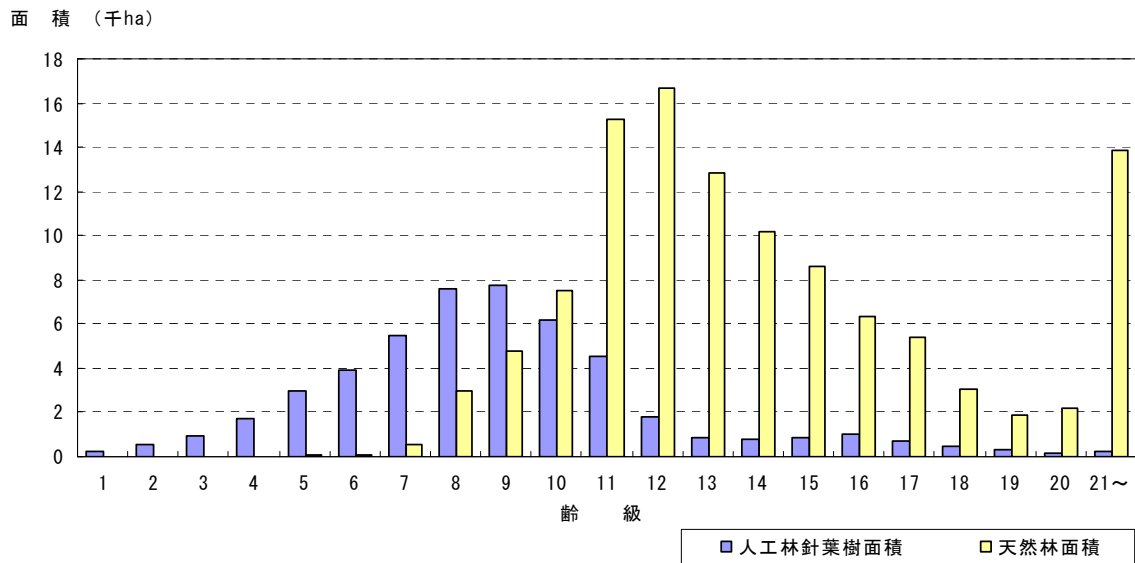
2. 本県民有林の現況

(1) 樹種別森林面積



(平成 19 年 3 月 31 日現在)

(2) 人工林・天然林齢級別の森林面積



※ 人工林は、針葉樹のみ。人工林広葉樹は面積 439 h a。

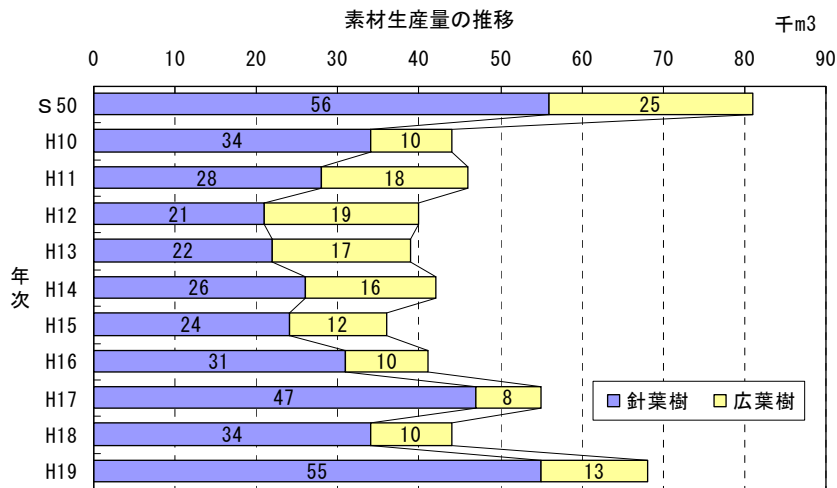
(平成 19 年 3 月 31 日現在)

3. 本県林業の現況

(1) 素材生産

素材の生産量は、昭和39年の261千m³をピークとして、近年は40～60千m³台で推移している。

今後は本格的な主伐期を迎えることになるので、100千m³を目標としている。

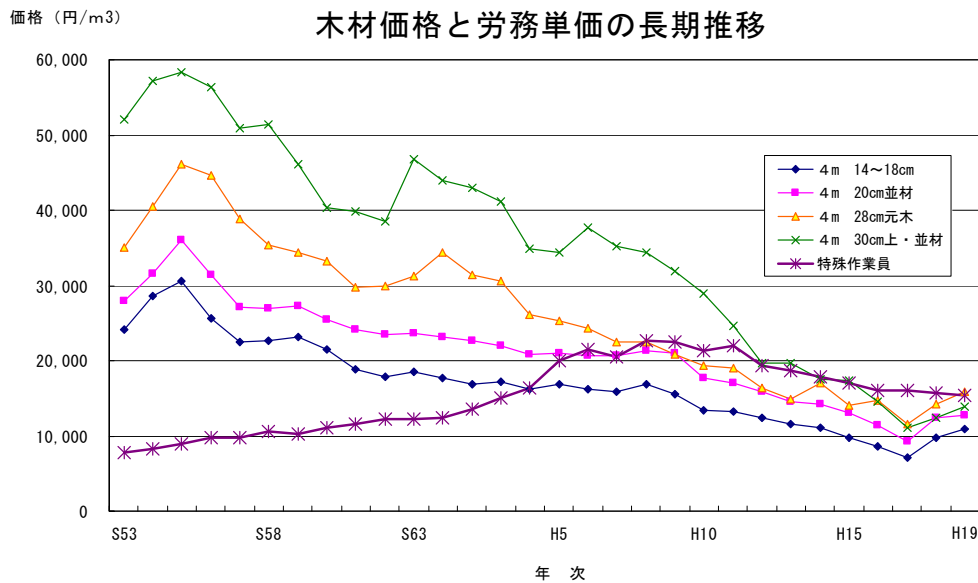


※ 農林水産省 木材統計より

(2) 木材価格と労務単価

スギ丸太の価格は昭和55年が最高値となり、その後は下落している。

一方、労務単価については、平成10年ごろまで上昇している。



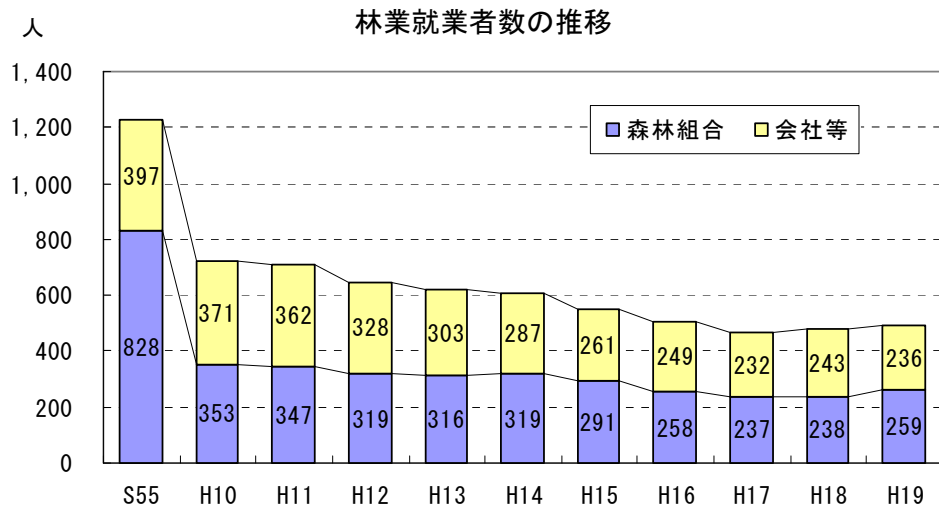
※ 木材価格は県森連 木材共販より

特殊作業員は富山県標準単価表より

(3) 林業就業者数

林業就業者数は、近年、ほぼ横ばいで推移している。

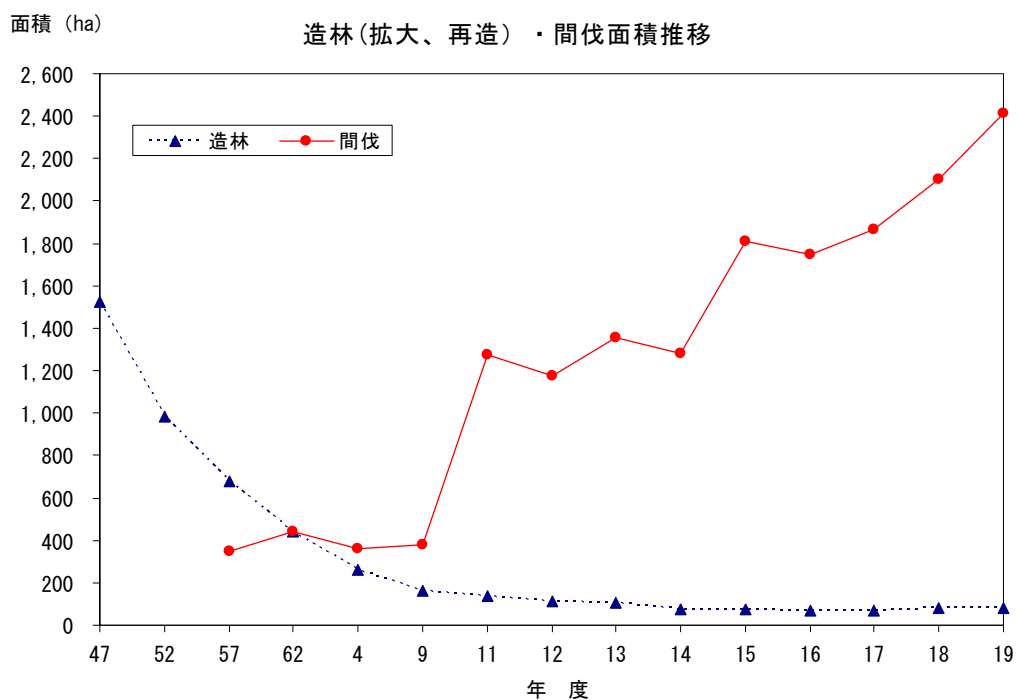
※ 林業就業者：間伐、素材生産等林業の生産に直接従事するもので、年間労働日数 30 日以上。



(4) 造林・間伐

造林面積は減少傾向にあるが、間伐面積は近年増加傾向にある。

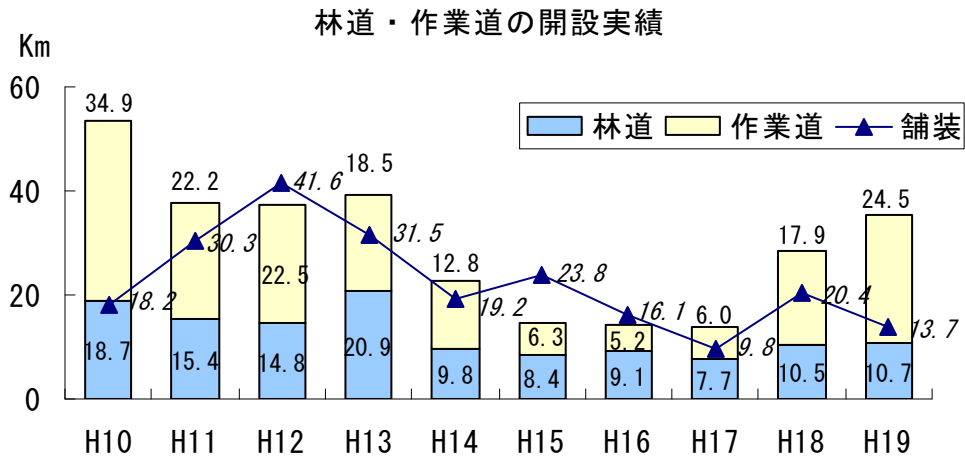
対 策	年間目標 (ha)	実績 (ha)	備 考
緊急間伐 5ヶ年対策(H12~16)	1, 0 0 0	1, 4 3 5	
緊急間伐 3ヶ年対策(H17~19)	1, 4 0 0	1, 7 6 3	
森林吸収量確保推進計画(H19~24)	2, 1 0 0	2, 4 1 2	



(5) 林道

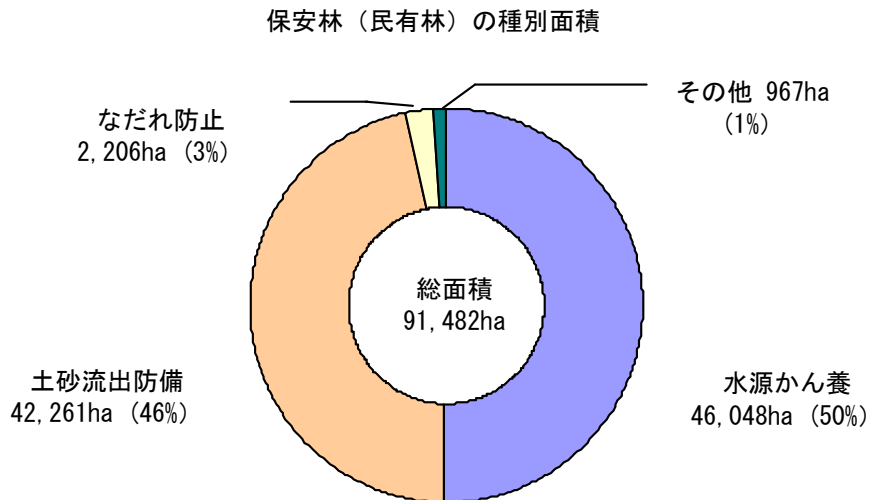
林道については、木材生産や地域の交通手段として利用されるほか、自然環境の保全や地球温暖化の防止を図る森林整備のための基盤として、欠かせない施設であり、近年の開設量は、年間10km程度で推移しており、林道密度は8.7m/ha（H19 現在）となっている。 計画目標

	計画目標数値	平成19年度	達成率
林道延長（km）	2,436	1,555	64%
林道密度（m/ha）	13.6	8.7	64%



(6) 保安林

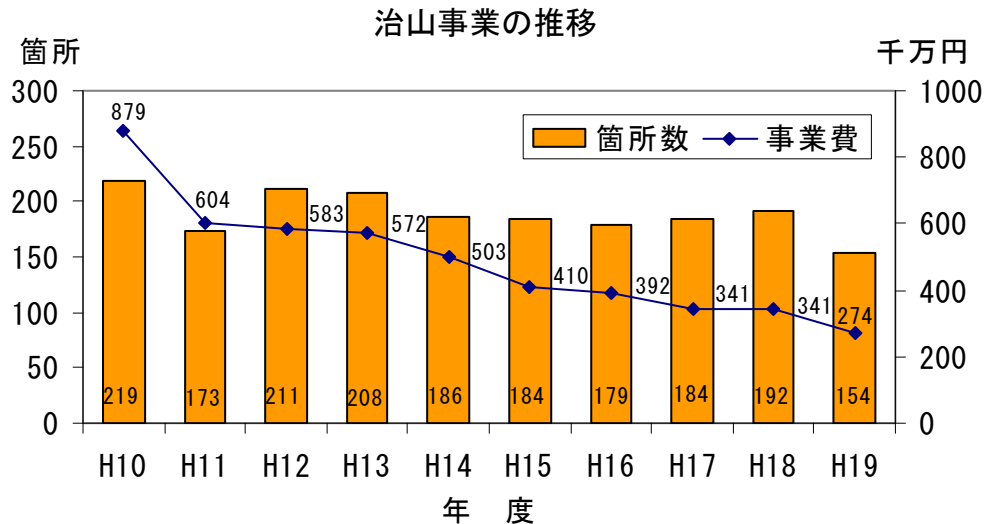
国有林を含めた県内の保安林面積は196,122ha（平成20年3月31日現在）で、県内の森林の保安林率は69%と全国第1位であるが、民有林の保安林率は51%で山梨県について全国第2位である。



（平成20年3月31日現在）

(7) 治山

治山事業については、森林整備保全事業計画に基づき、計画的な事業の推進に努めている。

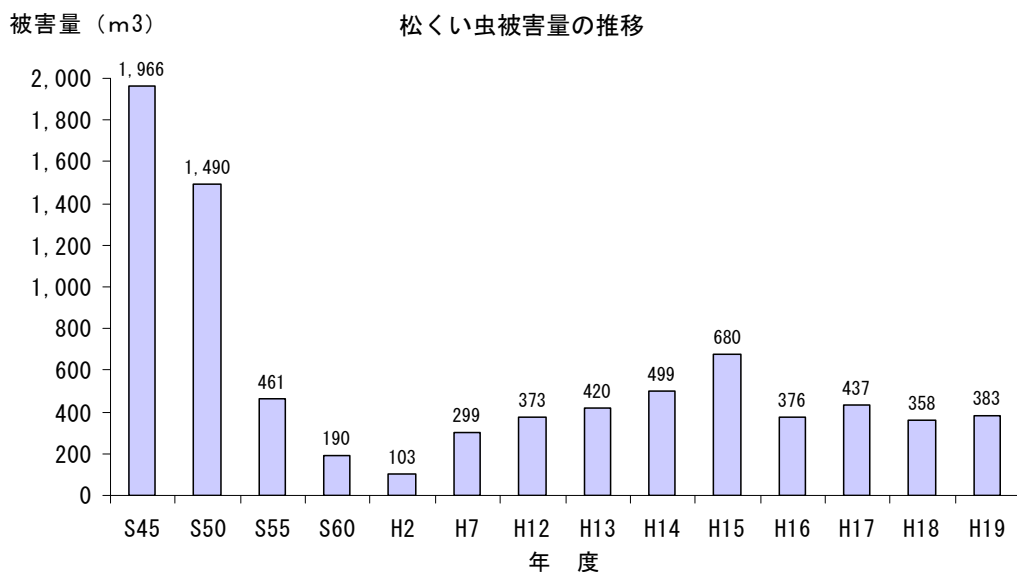


※災害は除く

(8) 森林被害

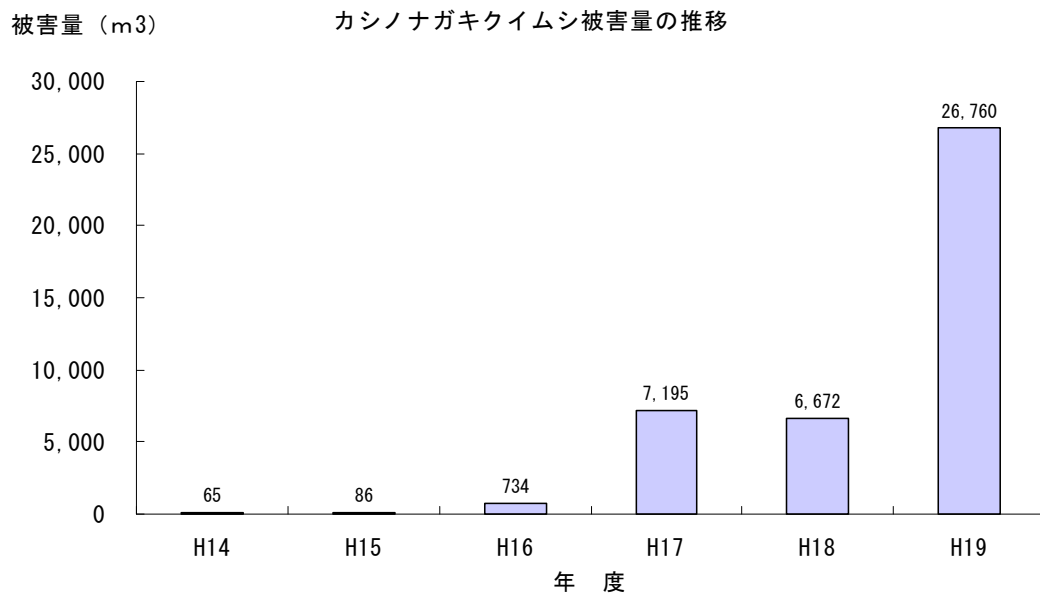
本県の松くい虫被害は、昭和38年に7,200m³のピークに達した。このため、県では特別防除（空中散布）を含めた松くい虫防除対策を総合的に進めた結果、被害は大幅に減少し、平成元年には100m³を下回るまでに至った。昨年度の被害量は383m³で、ピーク時の5%の水準となっている。

しかし、全国的には被害は依然として高い水準にあり、しかも高緯度・高標高の地区へ拡大していることから、今後とも継続して防除を実施していくことが必要である。



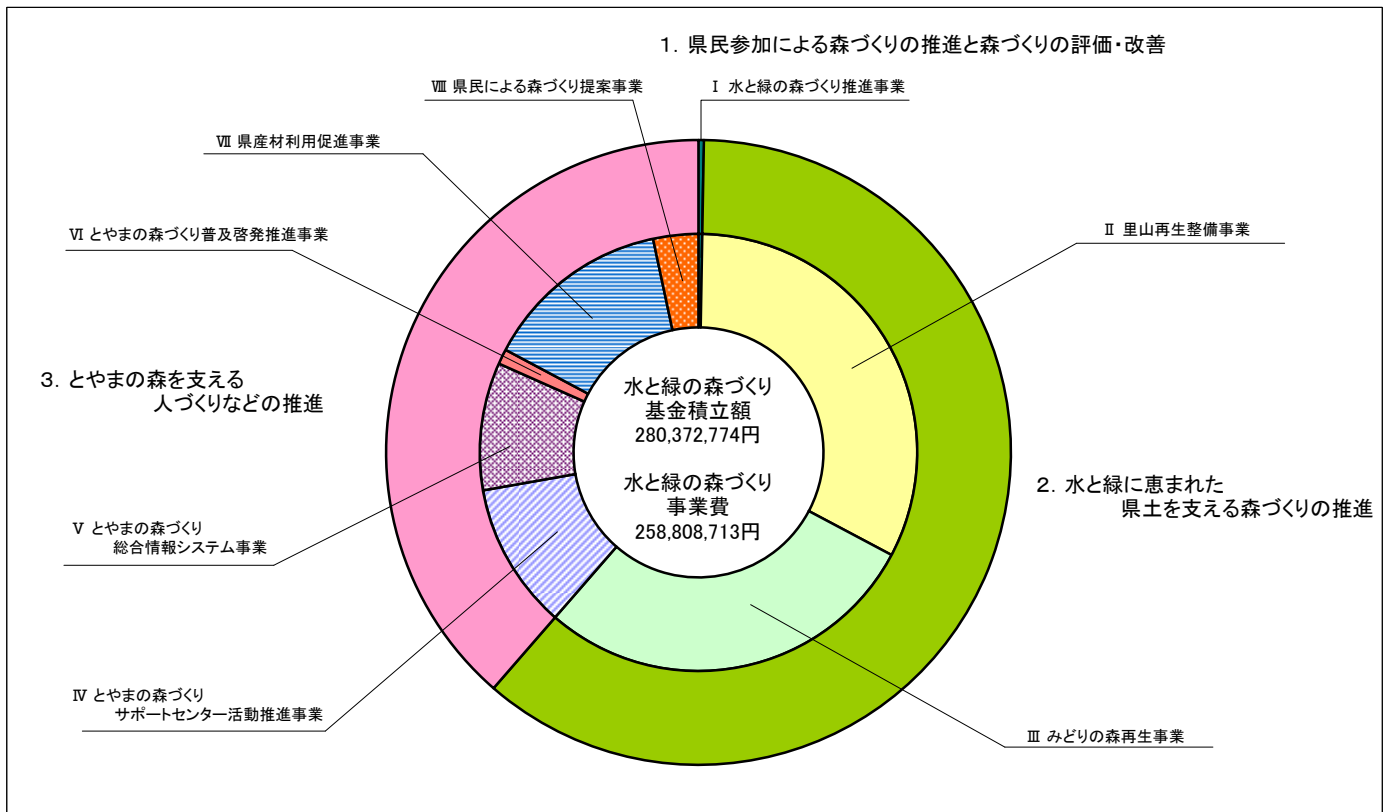
本県におけるカシノナガキクイムシによる被害は、平成14年に南砺市（旧福光町）で初めて確認され、その後被害は拡大し平成17年にはほぼ県内全域で被害が発生するに至った。

平成19年は、県東部での被害の著しい拡大により、平成18年の約4倍の被害量となった。



注）平成20年については、県西部での被害が沈静化してきたことなどにより、被害量は初めて減少傾向を示した。

平成19年度 水と緑の森づくり事業 実績



富山県水と緑の森づくり基金積立額 280,372,774 円

水と緑の森づくり 税込相当額	274,651,000 円
寄 付 金	5,062,000 円
運 用 益	659,774 円

・富山県法人会連合会 ・田邊嶽之
・富山県母親クラブ連合会 ・(株)富山第一銀行

水と緑の森づくり事業費 258,808,713 円

1. 県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善 830,172 円			
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費(決算額)
Ⅰ 水と緑の森づくり推進事業	県民が支える森づくりを推進し、森づくりの計画及び実行の改善のための評価、事業の広報を実施	水と緑の森づくり会議 森林審議会森づくり部会 開催	830,172 円
2. 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進 157,817,450 円			
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費(決算額)
Ⅱ 里山再生整備事業	地域や生活に密着した里山の再生整備を県民協働で推進	実施地区数 44地区 整備対象面積 366ha	83,694,300 円
Ⅲ みどりの森再生事業	風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林に誘導	整備面積 61ha { 風雪被害林 42.1ha 過密人工林 19.3ha	74,123,150 円
3. とやまの森を支える人づくりなどの推進 100,161,091 円			
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費(決算額)
Ⅳ とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	森林ボランティアを総合的・専門的に支援し、県民参加による森づくり活動を支援	登録団体数 43団体 2,903人 11企業 (H20.3.31現在) 森づくり参加延べ人数 6,920人	28,048,829 円
Ⅴ とやまの森づくり総合情報システム事業	森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を提供	森林GISシステムの整備 とやまの森づくりホームページ公開(3/27~)	24,825,377 円
Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業	森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、「森の寺子屋」を開催	森の寺子屋 46回開催(2,847人参加) フォレストリターの養成 新規認定者62名(既認定者52名)	2,984,986 円
Ⅶ 県産材利用促進事業	とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材製品の設置や、公共施設の木質化を推進	県産スギベンチの設置 160基 県産材積木を県内全ての保育園等に配布 学童机を県産材天板に置換え など	35,964,834 円
Ⅷ 県民による森づくり提案事業	県民自ら企画・立案・実施する事業への支援アイデアを募集し事業への反映を検討	県民実施事業 15件応募、15件採択 アイデア提案 14件応募、うち5件をH20事業に反映	8,337,065 円

I 水と緑の森づくり推進事業

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成19年度事業の実績 実施額 1百万円

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

県民全体で支える森づくりを推進するため、森づくり全般について、県内の各界の代表者や有識者から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成19年5月30日

議題

平成19年度事業計画の報告

「県民による森づくり提案事業(県民実施事業)」の採択審査 など

第2回 平成19年11月22日

議題

平成19年度事業実施状況の報告

「県民による森づくり提案事業(アイデア提案)」の審査
平成20年度事業への提案 など

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価するための評価方法などについて検討しました。

第1回 平成19年6月5日

内容

森づくり事業の評価方法の検討

里山再生整備事業実施予定地の現地調査 など

第2回 平成19年12月19日

内容

平成19年度事業の実施状況の報告

森づくり事業の評価方法の決定 など



富山県水と緑の森づくり会議で議長（石井知事）があいさつ。



森林審議会森づくり部会が里山再生整備事業の実施予定地を現地調査しました。

Ⅱ 里山再生整備事業

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施します。

○平成19年度事業の実績 実施額 8千4百万円

野生動物との棲み分けや景観の保全などを旨として、里山管理利用計画の策定や里山林整備、地域住民による整備活動の支援などを行ないました。

モデルとなる取組みを実施した黒部市若栗地区での開始式には石井知事、堀内黒部市長らも参加し、地域住民など150名が里山林の整備に汗を流しました。

事業実施地区	44地区（14市町）
対象面積	366ha
事業主体	市町村



里山再生モデル林での森林整備開始式では地域住民等150名が里山林の整備に汗を流しました。



森林整備の実施により明るく見通しの良い里山林によみがえりました。

○平成19年度事業の評価

評価対象：里山林整備の実施面積

評価方法：計画面積に対する進捗状況の評価

平成23年度末累計整備面積	1,000ha
平成19年度計画整備面積	200ha

県民の里山再生への関心や地域等からの要望の高まりにより、平成19年度の実施面積は366ha（進捗率36.6%）と計画を大きく上回り「達成」と評価されました。

Ⅲ みどりの森再生事業

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施します。

○平成19年度事業の実績 実施額 7千4百万円

(1) 風雪被害林の整理の実施

平成16年に県西部を中心に発生した風雪被害林での倒木や折損木を整理しました。また、高岡市福岡町上野地内では、「上下流連携植樹の集い」を開催し、地元森林所有者や地元企業の方々のほか、岐阜県関係者や漁業関係者、地元企業の方々とともに広葉樹の植樹活動を実施しました。

事業実施箇所	11地区（7市町）
整備面積	42.1ha
事業主体	県

(2) 過密人工林の整理の実施

十分な手入れがなされず過密となった人工林に、広葉樹が発生し生育する環境を整えるための伐採を実施しました。

事業実施箇所	11地区（8市町）
整備面積	19.3ha
事業主体	県



風雪被害を受けた倒木や折損木を整理した跡地で「上下流連携植樹の集い」を開催し、コナラやサクラなどの広葉樹の植樹活動を行ないました。



過密人工林を伐採し、林内に日光が射し込むようにすることで、広葉樹が発生し成長しやすい環境を整えました。

○平成19年度事業の評価

評価対象：混交林整備の実施面積

評価方法：整備目標に対する進捗状況を評価

平成23年度末累計整備面積	1,000ha
平成19年度計画整備面積	70ha

地域等からの要望の高い里山再生整備事業を優先して実施した結果、当事業の実施面積は61ha（進捗率6.1%）となりましたが、計画面積の80%以上の実績となったことから「ほぼ達成」と評価されました。

Ⅳ とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成19年度事業の実績 実施額 2千8百万円

(1) 登録団体数等（平成20年3月31日現在）

43団体 2,903人 11企業

(2) 県民参加による森づくり参加延べ人数

サポートセンター登録団体・個人	6,183人
企業の森づくり（サポートセンター登録企業）	407人
サポートセンター主催活動	277人
里山再生整備事業（地域外からの参加者数）	53人
合計	6,920人

(3) ボランティアの活動支援の実施

登録団体へのヘルメットや草刈り鎌、伐採木竹を処理するチップパーなど機材の貸出し、保険料等の支援、作業技術等の向上のための「森づくり塾」の開催 など

(4) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

森づくりボランティアの集い等の開催、ボランティア交流サロンの設置 など

(5) PR活動の実施

登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や、店舗店頭を設置する「ミニ旗」、企業の森づくりのPRパンフレットの作成・配布 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しています。



ボランティアの集いには石井知事も応援に駆けつけました。



ミニ旗を作成し、店舗店頭を設置しPR活動を行ないました。

○平成19年度事業の評価

評価対象：県内におけるボランティアの活動状況

評価方法：森づくり参加延べ人数の達成状況で評価

平成23年度末計画参加人数 6,000人

平成23年度末における計画人数6,000人に対し、平成19年度はそれを上回る6,920人も参加実績があったことから「達成」と評価されました。

V とやまの森づくり総合情報システム事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

○平成19年度事業の実績 実施額 2千5百万円

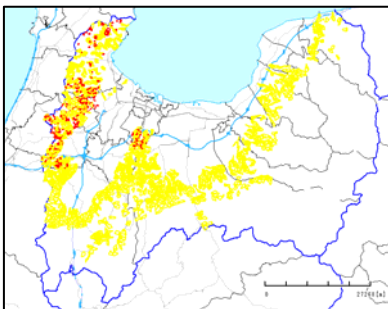
(1) 森林GISシステムの整備

人工林、天然林、樹種などの分析データ、里山再生整備事業やみどりの森再生事業の実施区域、ツキノワグマの出没地点などを、地形図や航空写真上に表示するため「森林GISシステム」を整備しました。

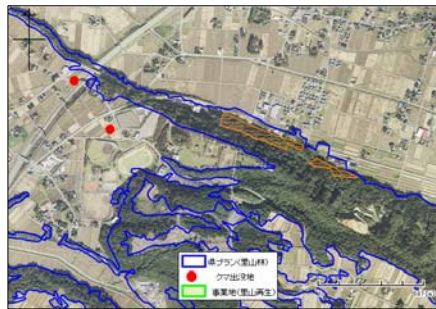
(2) とやまの森づくりホームページの公開

森林GISシステムを用いて作成したとやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業を紹介する「とやまの森づくりホームページ」を作成し公開しました。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>



森林GISを用いることで、混交林の整備対象地(黄色)と風雪被害林の位置(赤色)を富山県図に表示できます。



里山林の整備対象地とツキノワグマの出没地点、平成19年度森林整備区域のデータを航空写真上に重ねて表示することもできます。



とやまの森づくりホームページにより、水と緑の森づくり事業実施状況などについての情報発信を行ないました。

○平成19年度事業の評価

評価対象：森林GISデータの整備状況とその活用状況

評価方法：森づくり事業の評価・改善に向け、県民への情報提供に、森林GISデータをどのように活用したかを評価

- ・「森林GISシステム」を整備し、森づくり事業地を地形図や航空写真上に表示することが可能となり、森づくり事業の評価・改善に向けた基礎資料作成に活用することが出来るようになりました。
- ・森林GISシステムを用いて作成した森づくり情報図等、水と緑の森づくり事業に関する情報を紹介する「とやまの森づくりホームページ」を公開し、広く県民へ情報提供を行うことが出来るようになりました。

以上のことから「達成」と評価されました。

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成19年度事業の実績 実施額 3百万円

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しました。

- ・ 出前講座 12回（参加人数 673人）
- ・ 森林教室 34回（参加人数 2,174人）

(2) フォレストリーダーの養成

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーを新規養成しました。

- ・ 新規認定者数 62名
（参考：既認定者数 52名）
- ・ 養成講座開催 10回（H19.6.20～H19.10.23）



フォレストリーダーの養成講座では、座学だけではなく現地実習も実施しました。



「森の寺子屋」では、小学校などからの要請を受け、フォレストリーダーが出向いて講義などを行っています。

○平成19年度事業の評価

評価対象：①フォレストリーダーの養成状況 ②「森の寺子屋」の開催状況
評価方法：①フォレストリーダーの養成数で評価 ②「森の寺子屋」実施状況で評価

- ① フォレストリーダーについては計画養成者数30名に対し62名（受講64名）を養成しました。
- ② 「森の寺子屋」については、計画25回に対し実績46回と森づくりに関する理解を一層深めることができました。

以上のとおりいずれも計画を上回り、「達成」と評価されました。

Ⅶ 県産材利用促進事業

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を進めます。

○平成19年度事業の実績 実施額 3千6百万円

(1) 県産材くつろ木事業

公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置しました。

・設置数 公共交通機関 22基 公共施設 138基

(2) 森の玉手箱プレゼント事業

県内全ての幼稚園、保育園や児童・福祉施設等に県産材積木を配布しました。

・配布施設数 591施設（1200セット）

(3) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

・実施施設数 4施設（青雲幼稚園 みつば幼稚園 牧野幼稚園 井波第一保育園）

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業

小学校の学童机天板を県産材天板に置換えました。

・実施小学校数 4校（広田小学校 上滝小学校 横田小学校 津沢小学校）

(5) 木の香るまちづくり事業

公共施設の内装の木質化に支援しました。

・実施施設数 2施設（めひの野園 ルンビニ園）

(6) 県有施設木質化事業

県有施設の整備の際に県産材を使用しました。

・実施施設数 2施設（山室交番 女性相談センター）

(7) 県産材利用シンボルマーク募集事業

県産材を広くPRするためのシンボルマークを制定しました。



県産材シンボルマーク



駅の待合室などに県産材ベンチを設置しました。



県下全ての幼稚園、保育所等に県産材の積木を配布しました。

○平成19年度事業の評価

評価対象：木製品設置施設等での県産材の評価

評価方法：施設管理者等（先生、生徒含む）のアンケートにより評価

各事業を実施した施設管理者や施設利用者等に対してアンケート調査を行った結果、おおむね良好な意見が多く、県産材の良さをPRできたと判断されることから、「達成」と評価されました。

Ⅷ 県民による森づくり提案事業

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが自ら企画・立案し、実施する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、事業への反映を検討します。

○平成19年度事業の実績 実施額 8百万円

(1) 県民実施事業への支援

県内で活動する団体やグループ等から、自ら企画・立案し、実施する森づくり事業を募集し、富山県水と緑の森づくり会議で採択し、支援を行ないました。

- ・ 応募件数15件 採択件数15件

(2) アイデア提案の募集

県民から、水と緑の森づくり税を活用した県が行なう事業のアイデアを募集し、富山県水と緑の森づくり会議で審査し、平成20年度事業などへの反映を検討しました。

- ・ 応募件数14件 うち5件について20年度事業に反映



地域で伐採した風倒木を利用してテーブルやイスを製作し、公園に設置されました。
(綾子里山再生利用の会)



被害林の整備や森林の大切さについて学ぶ森林教室を開催されました。
(財)オイスカ 富山県支部)

○平成19年度事業の評価

評価対象：県民実施事業の実行状況

評価方法：提案事業を総合的に評価

各団体とも地域に密着したきめ細かい事業を実施し、その参加人数も延べ3,935名と多くの県民が森づくりに参加する機会を提供することができました。

また、アイデア提案により県民意見を事業に反映することもできました。

以上のことから「達成」と評価されました。

平成 20 年度 水と緑の森づくり事業の実施状況

水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりと、とやまの森づくりを支える人づくりなどを推進するため、水と緑の森づくり税を活用した「水と緑の森づくり事業」を実施していますので、その状況を報告します。

1 実施状況（平成 20 年 12 月 15 日現在）

事業名 実施計画額	事業内容	実施状況
水と緑の森づくり推進事業 2 百万円	・ 富山県水と緑の森づくり会議の開催	4/16 開催 (平成 20 年度事業計画、提案事業の採択審査など) 11/21 第 2 回森づくり会議開催 (H20 事業実施状況報告、アイデア提案の審査など)
	・ 森林審議会森づくり部会の開催	6/10 開催 (平成 19 年度事業の評価)
里山再生整備事業 163 百万円	・ 地域や生活に密着した里山の再生整備を県民協働で推進 事業主体：市町村	・ 実施面積 743ha (14 市町) 4/17 関係市町村に事業実行通知
	・ 里山活用推進事業費 (上市町黒川地区)	里山の利活用体験を実施 3 回 5/18 「里山の集い」と併催 知事、県議会議長、上市町長、地域住民等 271 名参加 10/25 地域住民等 51 名参加 11/08 地域住民等 74 名参加
	・ 放置竹林に係るデータ整備と竹林整備や竹材処理・活用方針の検討	6 月 竹林分布図作成の委託契約締結 08/04 第 1 回 とやまの竹資源利用・整備促進検討会 開催 10/24 第 2 回 検討会 開催
	・ カシノナガキクイムシ枯損木除去事業の実施	・ 除去実施計画量 3,320m ³ 7/1 事業実行通知
みどりの森再生事業 107 百万円	・ 風雪被害林や過密人工林を、スギと広葉樹の混交林に誘導	・ 実施面積 74ha (12 市町) 4/17 事業実行通知
	・ 県産広葉樹苗を県民参加で育成する「みどりの里親」	10/11 「みどりの里親の集い」を実施 (砺波市 頼成の森)
とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業 26 百万円	(平成 20 年 3 月末現在登録団体等)《43 団体 2,903 人 11 企業》 ・ 森林ボランティア活動を総合的、専門的に支援	・ 現在登録団体等 《53 団体 3,361 人 21 企業》 04/20 ボランティア交流会開催 06/15 飛越源流の森づくり 県内ボランティア等 128 名参加 05/25～11/30 森づくり塾 25 回開催 195 名受講済 09/21 ボランティアの集い開催 10/19 飛越源流の森づくり 87 名参加

とやまの森づくり総合情報システム事業 5百万円	<ul style="list-style-type: none"> 「とやまの森づくり総合情報システム（森林GIS）」の運用保守 	<p>4月 運用保守の委託契約締結</p> <p>とやまの森づくりホームページ公開中</p>
とやまの森づくり普及啓発推進事業 9百万円	<ul style="list-style-type: none"> 「森の寺子屋」（森林教室・出前講座）の開催 フォレストリーダースキルアップのための研修開催 「とやま森の教本」作成 	<ul style="list-style-type: none"> 65回開催（対象人数4,593名）（75回開催予定） 7/7 第1回研修開催 3月 第2回研修開催予定 7/1 版下作成の委託契約締結 3月作成完了・使用開始予定 16,000部作成
県産材利用促進事業 30百万円	<ul style="list-style-type: none"> 「森の玉手箱」（県産材積木）の幼稚園・保育所などへの配布、イベント用積木の貸出 「こどもの城」（園児デザインによる木製遊具）の製作・設置 「森に親しむ学び舎」（学童机天板の県産材天板への置換）づくりの実施 「県産材くつろ木」ベンチの製作・設置 県有施設の木質化 「木の香るまちづくり」（福祉施設等の内装木質化）への支援 	<ul style="list-style-type: none"> イベント用積木 9月中旬より貸出開始 児童数の多い幼稚園、保育所等に積木配布予定（357施設、1,300セット） 7/12「夢のおうち発表会」実施 7/26「森の見学会」実施 9/28「建て前」実施 11/1「完成式」実施 4/14 事業実施市町村等募集開始 9/9 魚津市交付決定（36枚分） 企業協賛ベンチ募集 公共交通機関、公共施設に80基設置予定 10/17 女性相談センター（19繰越）完成 7/1 ルンビニ園（19繰越）完成 5者の事業計画を認定 立山町（町立北部保育所） （福）富山学院福祉会（堀川南保育園） 小矢部市（市立津沢小学校） 高岡市（市立西明寺パークゴルフ場管理棟） （学）伏木中央学園（かたかご幼稚園） 8/23（学）伏木中央学園 完成 10/31 高岡市 完成
県民による森づくり提案事業 10百万円	<ul style="list-style-type: none"> 自主企画事業への支援 事業アイデアの募集 	<ul style="list-style-type: none"> 申請23件 採択22件（実施20件） 補助金額：9,551千円 5/8～随時 アイデア募集中 9/30 現在 応募数 10件 （うち1件につき、H21年度事業への反映を検討中）
合計 352百万円		

I 水と緑の森づくり推進事業

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成20年度事業の実施状況

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

県民全体で支える森づくりを推進するため、森づくり全般について、県内の各界の代表者や有識者から幅広く意見を伺います。

第1回 平成20年4月16日

議題

平成19年度事業実施状況の報告

平成20年度の取り組みについて

「県民による森づくり提案事業(県民実施事業)」の採択審査

第2回 平成20年11月21日

議題

平成19年度事業の評価結果の報告

平成20年度事業の実施状況の報告

平成21年度に向けた取り組み

・「県民による森づくり提案事業」(アイデア提案)の審査

・「とやまの竹資源利用・整備促進検討会」の概要の報告

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成20年6月10日

内容

平成19年度の事業評価の実施

平成20年度の事業概要の報告



平成20年度
第1回 富山県水と緑の森づくり会議



森林審議会森づくり部会により19年度事業の
評価をしていただきました。

Ⅱ 里山再生整備事業 - ①

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するほか、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や整備について検討します。

○平成20年度事業の実施状況

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを目指して、里山管理利用計画の策定や里山林整備、地域住民による整備活動の支援などを行なっています。

【平成20年度実施状況】

事業実施地区	84地区（14市町）
対象面積	743ha
事業主体	市町村

(2) 里山利活用促進事業

里山の継続的な管理・利用をすすめるため、「里山再生整備」に取り組む地域住民による里山の利活用体験を行います。

【平成20年度実施状況】

実施場所	上市町黒川地区
取組内容	県下各地の里山地区の住民などが参加し、広葉樹林の除伐、炭焼材料集め、キノコ植菌、山菜の植付け、炭焼きなど里山の活用方法を体験。 ・参加者数 5月18日 271名、10月25日 51名、11月8日 74名
事業主体	県



第1回目（5/18）を「里山の集い」として開催し、石井知事はじめ地域住民の皆さんが利活用体験に汗を流しました。（山菜苗の贈呈）



森林整備の実施により、明るくなった里山林へギョウジャニンニクなど山菜苗の植付けを体験しました。

Ⅱ 里山再生整備事業 - ②

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するほか、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や整備について検討します。

○平成20年度事業の実施状況

(3) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図ります。

【平成20年度実施状況】

事業実施地区 46地区（14市町）
除 去 量 3320m³
事 業 主 体 市町村

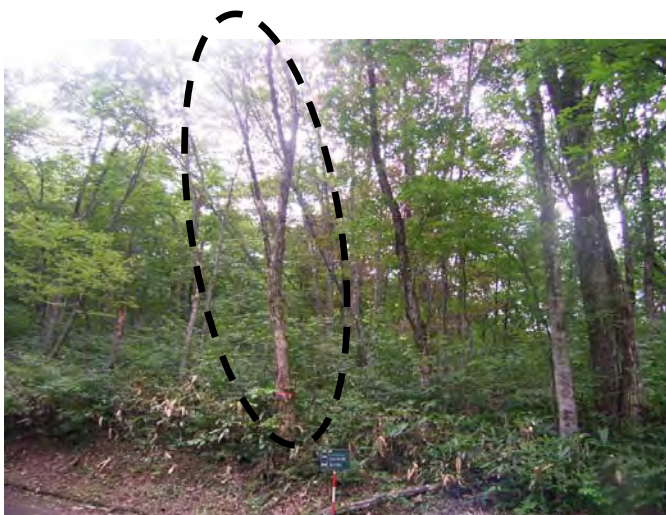
(4) 竹資源の利用・整備促進のための検討会やデータ整備の実施

拡大する竹林の実態把握をするとともに、竹資源の利用や竹林の整備を促進するための方策について検討しています。

【平成20年度実施状況】

取 組 内 容 ・「とやまの竹資源利用・整備促進検討会」（委員長：内村悦三）の開催。本年度3回開催予定し、これまで2回（8/4、10/24）開催。
・衛星データを利用した竹林分布図を作成中。

事 業 主 体 県



道路沿線にあるカシノナガキクイムシ経年被害木。放置しておくと、倒伏し通行者へ被害を与える恐れがある。（富山市亀谷地内）



枯損木を除去し、未然に危険を回避しました。

平成20年度 カシノナガキクイムシ枯損木除去事業 計画一覧

管内	市町名	計画地区	防 災	事業目的		除去量 m3
				景観の保全	目的詳細	
新川	1 滑川市	東加積		○	景観の保全(県道沿線)	45.00
	2 滑川市	山加積		○	景観の保全(県道沿線、公園施設)	35.00
		滑川市計	2			80.00
	3 魚津市	片貝	○		倒伏被害の防止(林道)	100.00
	4 魚津市	松倉		○	景観の保全(県道沿線)	150.00
	5 魚津市	西布施	○		倒伏被害の防止(人家、県道、林道)	100.00
		魚津市計	3			350.00
	6 黒部市	浦山		○	景観の保全(高速・鉄道)	200.00
	7 黒部市	若栗		○	景観の保全(高速・鉄道)	150.00
		黒部市計	2			350.00
新川	8 入善町	舟見		○	景観の保全(町道、自然公園)	40.00
		入善町計	1			40.00
	9 朝日町	山崎		○	景観の保全(県道沿線、観光施設)	104.00
	10 朝日町	境		○	景観の保全(高速・鉄道)	46.00
		朝日町計	2			150.00
		新川管内計	10			970.00
富山	11 富山市	亀谷	○		倒伏被害の防止(林道)	80.00
	12 富山市	須原	○		倒伏被害の防止(林道)	60.00
	13 富山市	保内	○		倒伏被害の防止(工業施設)	60.00
	14 富山市	鍋谷	○		倒伏被害の防止(林道)	400.00
		富山市計	4			600.00
	15 上市町	伊折		○	景観の保全(県道沿線)	95.19
	16 上市町	大岩	○		倒伏被害の防止(人家)	69.99
	17 上市町	西種		○	景観の保全(県道沿線)	76.84
	18 上市町	黒川	○		倒伏被害の防止(県道)	57.98
	上市町計	4			300.00	
富山	19 立山町	白岩	○		倒伏被害の防止(人家)	300.00
		立山町計	1			300.00
		富山管内計	9			1,200.00
高岡	20 高岡市	二上		○	景観保全(市道、キャンプ場)	35.00
	21 高岡市	沢川・五位		○	景観保全(県道)	35.00
		高岡市計	2			70.00
	22 氷見市	赤毛・坪池	○		倒伏被害の防止(県道・林道)	20.00
		氷見市計	1			20.00
	23 小矢部市	埴生		○	景観保全(市道)	50.00
	小矢部市計	1			50.00	
高岡	24 射水市	金山		○	景観保全(高速)	10.00
		射水市計	1			10.00
		高岡管内計	5			150.00
砺波	25 砺波市	頼成	○		倒伏被害の防止(公園施設、国道、林道)	60.00
	26 砺波市	五谷	○		倒伏被害の防止(県道)	40.00
		砺波市計	2			100.00
	27 南砺市	利賀村上百瀬	○		倒伏被害の防止(人家)	60.00
	28 南砺市	利賀村上島	○		倒伏被害の防止(市道、観光施設)	45.00
	29 南砺市	利賀村岩淵	○		倒伏被害の防止(人家、国道)	10.00
	30 南砺市	利賀村北豆谷	○		倒伏被害の防止(人家、国道)	20.00
	31 南砺市	利賀村長崎上山	○		倒伏被害の防止(人家)	55.00
	32 南砺市	利賀村長崎川戸		○	景観の保全(国道沿線、庄川峡)	75.00
	33 南砺市	杉尾	○		倒伏被害の防止(国道、人家)	35.00
	34 南砺市	入谷・東中江	○		倒伏被害の防止(人家・市道)	35.00
	35 南砺市	下出	○		倒伏被害の防止(国道)	10.00
	36 南砺市	上松尾	○		倒伏被害の防止(人家、市道)	35.00
	37 南砺市	相倉	○		倒伏被害の防止(合掌集落、人家)	15.00
	38 南砺市	上梨	○		倒伏被害の防止(人家、国道)	15.00
	39 南砺市	猪谷	○		倒伏被害の防止(人家、市道)	30.00
	40 南砺市	小原	○		倒伏被害の防止(人家、市道)	5.00
	41 南砺市	西赤尾	○		倒伏被害の防止(国道)	30.00
	42 南砺市	院瀬見	○		倒伏被害の防止(人家、用水)	25.00
	43 南砺市	林道	○		倒伏被害の防止(公園施設)	15.00
	44 南砺市	小院瀬見	○		倒伏被害の防止(人家、市道)	15.00
	45 南砺市	才川七外	○		倒伏被害の防止(市道)	360.00
46 南砺市	香城寺	○		倒伏被害の防止(人家、用水)	10.00	
	南砺市計	20			900.00	
	砺波管内計	22			1,000.00	
総計		46	31	15		3,320.00

Ⅲ みどりの森再生事業

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成20年度事業の実施状況

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

平成16年に県西部を中心に発生した風雪被害林や十分な手入れがなされず過密となった人工林を整理するとともに、整理地に広葉樹を植栽し、混交林化を促進しています。

【平成20年度実施状況】

事業実施箇所	・風雪被害林整理	7地区（6市町）
	・過密人工林整理	11地区（8市町）
整備面積	・風雪被害林整理	34.1ha
	・過密人工林整理	40.2ha
事業主体	県	

(2) 県産広葉樹苗の育成

県民や森林ボランティアの協力を得て、針広混交林への誘導などに必要な県産の広葉樹の苗を育成しています。

10月11日に砺波市頼成の森において、約270名の参加を得て、ドングリ拾いのイベント「みどりの里親の集い」を開催しました。参加者には「里親」となってドングリの苗を育てていただいています。

【平成20年度実施状況】

事業実施箇所	砺波市頼成（県民公園 頼成の森）
事業主体	県（とやまの森づくりサポートセンターに委託）



10月11日、時折小雨の降る中、フォレストリーダーの引率のもと、頼成の森の遊歩道を散策しながらコナラなどのドングリを拾いました。



拾ってきたドングリを竹で作った鉢などに鉢植えしました。参加者は家に持ち帰り、ドングリの「里親」となって苗を育てていただきます。

全体計画及び進捗率

年度		全体計画	H19年度 (実績)	H20年度 (計画)	H21年度 (計画)	H22年度 (計画)	H23年度 (計画)
事業実施 面積	風雪被害林整理	250ha	42ha	34ha	30ha	70ha	74ha
	過密人工林整理	750ha	19ha	40ha	100ha	270ha	321ha
	合計	1000ha	61ha	74ha	130ha	340ha	395ha
累計実施面積			61ha	135ha	265ha	605ha	1,000ha
進捗率	実績		6.1%	13.5%			
	計画				26.5%	60.5%	100.0%

番号	市町村	箇所名	平成20年度実施計画				整備の目的	
			主要事業内容				災害防止 目的	景観保全 目的
			整理区域 面積	風雪被害 林整理	過密林整 理	植栽保育 面積		
20-1	朝日町	山崎外	2.0ha		2.0ha	0.5ha	○	
20-2	入善町	舟見	2.0ha		2.0ha		○	○
20-3	黒部市	舟見明日音 沢外	4.0ha		4.0ha		○	
20-4	魚津市	平沢	3.0ha		3.0ha		○	
20-5	富山市	婦中町高山	8.6ha	7.0ha	1.6ha	0.7ha	○	○
20-6	富山市	八尾町平林	2.7ha	1.8ha	0.9ha	0.2ha	○	
20-7	富山市	東黒牧	5.3ha		5.3ha		○	
	富山市 計		16.6ha	8.8ha	7.8ha	0.9ha	3地区	1地区
20-8	上市町	東種	3.0ha		3.0ha		○	
20-9	立山町	下田	8.8ha		8.8ha	0.5ha	○	
20-10	高岡市	福岡町上野 外	6.0ha	6.0ha		9.8ha	○	○
20-11	氷見市	上田外	12.4ha	12.4ha		8.6ha	○	○
20-12	小矢部市	田川外	5.9ha	5.9ha		8.0ha	○	○
20-13	砺波市	栃上	1.0ha	1.0ha			○	
20-14	南砺市	高窪	0.9ha		0.9ha		○	
20-15	南砺市	蔵原	2.0ha		2.0ha		○	
20-16	南砺市	利賀村大勘 場	6.7ha		6.7ha		○	
	南砺市 計		9.6ha		9.6ha		3地区	
	総計		74.3ha	34.1ha	40.2ha	28.3ha	16地区	5地区

ーとやまの森づくりを支える人づくりなどの推進ー

Ⅳとやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成20年度事業の実施状況

(1) 登録団体数等（平成20年12月15日現在）

53団体 3,361人 21企業（22団体）

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、ナタ、鋸、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出し
- ・登録ボランティア団体への活動経費や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のための「森づくり塾」の開催など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いやボランティア交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの管理 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッジ」の配布
- ・サポートセンターや企業の森づくりのPRパンフレットの配布
- ・登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しています。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



多くの県民が参加する森の祭典（砺波市）において、のぼり旗の贈呈を行いました。



森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

V とやまの森づくり総合情報システム事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

○平成20年度事業の実施状況

(1) 森林GISシステムの運用

昨年度整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

また、森林GISや衛星データを用い、拡大する竹林の現状を把握し、竹林の整備方針の検討に活用しました。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業をリアルタイムで紹介しています。

・アクセス件数 7,462 件（平成20年12月15日現在）

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

竹林の分布：富山市呉羽（寺町）地区



昭和50年の分布



平成16年の分布（約1.7倍に拡大）

とやまの森づくりホームページ



水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

ーとやまの森づくりを支える人づくりなどの推進ー

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成20年度事業の実施状況

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しています。

【平成20年度開催回数】

75回開催予定、うち65回実施済み(11月末現在)

- ・出前講座 18回 (参加人数 916人)
- ・森林教室 47回 (参加人数 3,677人)

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しています。

- ・スキルアップ研修の開催 2回
(第1回 H20.7.7、第2回 H21.3月予定)
- ・研修の対象者数 フォレストリーダー114名

(3) 「とやま森の教本」の作成

「森の寺子屋」等において活用する本県独自の副読本を作成し、学校教育と連携した森林環境教育を進めます。

- ・16,000部作成 (H21.3月完成予定)



「森の寺子屋」では、小学校などからの要請を受け、フォレストリーダーが出向いて講義などを行なっています。



スキルアップ研修では、外部講師の講演を拝聴し森林環境教育の意義・理解を深めるとともに、実践演習を行い指導力の向上を図りました。

Ⅶ 県産材利用促進事業

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を進めます。

○平成20年度事業の実施状況

(1) 県産材くつろ木事業

公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置します。

- ・設置予定数 80基

(2) 森の玉手箱プレゼント事業

- ・県内の児童数の多い幼稚園、保育園に県産材積木を配布します。
- ・一万ピースの県産材積木を製作し、県内の各種イベント等へ貸し出しを開始しました。

(3) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

- ・実施施設数 1施設（高波幼稚園）

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業

小学校の学童机天板を県産材天板に置換えます。

- ・実施小学校数 2校（大町小学校 道下小学校）

(5) 木の香るまちづくり事業

公共施設の内装の木質化に支援をしています。

- ・実施施設数 5施設（立山町北部保育所 堀川南保育園 小矢部市立津沢小学校 高岡市西明寺パークゴルフ場 かたかご幼稚園）



子どものデザインにもとづき木製遊具を幼稚園に設置しました。

県内の各種イベント等へ貸し出しを行っています。
(県・市町村・民間企業等の団体で利用可能)

Ⅷ 県民による森づくり提案事業

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが自ら企画・立案し、実施する森づくり事業への支援を行なっています。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、事業への反映を検討します。

○平成20年度事業の実施状況

(1) 県民実施事業への支援

県内で活動する団体やグループ等から、自ら企画・立案し、実施する森づくり事業を募集し、富山県水と緑の森づくり会議で採択し、支援を行なっています。

【採択実施状況】

- ・ 応募件数23件 採択件数22件 実施件数20件
(12月15日現在 5団体が事業完了)

(2) アイデア提案の募集

県民から、水と緑の森づくり税を活用した県が行なう事業のアイデアを募集し、富山県水と緑の森づくり会議で審査し、平成21年度事業などへの反映を検討します。

【応募状況】

- ・ 9月末までの応募件数 10件



竹林整備で発生した竹をチップ化し、発酵促進剤を混ぜて堆肥化に取り組んでいます。
(きんたろう倶楽部)



親子で地域の里山林整備に取り組み、親子の絆、地域の森との絆を深めています。
(氷見市立十三中学校育友会)

平成20年度 県民による森づくり提案事業(県民実施事業)一覧

No.	団体名	代表者名	事業名	事業内容
1	魚津地区 林業研究グループ協議会	会長 鍋谷 猛	間伐材を活用した卒業証 書類づくり	小学生と間伐材を搬出 搬出した間伐材を製材し、卒業証書用の額を製作
2	アースディとやま2008 にいかわ実行委員会	実行委員長 村田 尚紀	クリキンディの森づくり	①森林の調査及びそれに基づく森林の整備 ②整備森林で森林環境教育と講演会等の「森の感謝祭」開催
3	Bamboo saves the earth ～竹は地球を救う～	代表 渋谷 秀樹	竹の楽校	竹林の伐採活動と小学生を対象とした竹細工体験
4	(財)オスカカ富山県支部	会長 新木富士雄	猿倉山里山保全森づくり 事業	①猿倉山森林公園に隣接した荒廃森林で植樹活動を実施 ②青少年に対する森林教室を開催
5	きんたろう倶楽部	会長 西頭 徳三	竹チップ堆肥づくり	竹林の整備を実施し、竹を発酵させて堆肥にする
6	呉羽丘陵 森の楽校	代表 神名 秀雄	とやまのまんなか森づくり 事業	呉羽丘陵の竹林を整備し、竹クラフト講座を開催
7	エコロの森ネイチャークラブ	代表 西田由樹子	天蚕の森づくりと森のエ コツアー	①クヌギ林で天蚕を飼育し、絹糸作り体験 ②森林に隣接した耕作放棄地のクヌギ植栽 ③森林療法カウンセラーとの森林内散策
8	たてやまの森づくり実行委員会	代表 笠木 俊昭	たてやま森の祭典	広葉樹の植樹及び下刈、間伐材ベンチの製作
9	北八代里山を守る会	代表 大澤 勇	里山活用体験塾	①里山整備による伐採木を活用するため炭焼窯の設置 ②炭焼きやシイタケ植菌の体験教室の開催
10	火見城発伸の会	会長 正保 久男	飯久保山「次世代に継ぐ 森・Ⅱ」づくり	①会員による森林整備と中学生との遊歩道整備 ②竹林整備と竹ドームコンサートの開催
11	氷見市立十三中学校育友会	片田 義治	「きずなの森」づくり	生徒、保護者、教職員が一緒になって ①森林観察会を実施 ②森林整備(草刈り)の実施と森林に関する講演会を実施
12	アートNPOヒミング 八代環境パトロール隊	代表 高野織衣 代表 森杉國作	山と海プロジェクト 天馬の森林整備	①森林整備を実施し、伐採木を搬出、製材 ②①で製材した材を使って、天馬船を造船
13	小矢部里山を守る会	代表 高田 衛	大嶺山を中心とした森林 整備事業による自然体験 活動の推進	①自然体験活動のための歩道づくり ②風倒木を利用したベンチづくり ③案内看板、標識の設置
14	綾子青年団 綾子里山再生利用の会	団長 佐伯 俊幸 会長 加賀谷賢二	風倒木を利用した綾子町 内太田神社内こどもコミュニ ティーづくり	①風倒木の搬出、製材 ②ベンチとテーブルの製作、綾子地区の神社に設置
15	砺波増山杉を育てる会	代表 中岡 一正	増山杉を採穂・育成し普 及する事業	①地域伝統品種の増山杉の苗を育成するための苗畑造成 ②ビオトープ整備など周辺の環境整備
16	雄神地区森林振興会	会長 大蔵外喜雄	広葉樹の森を見直そう	①広葉樹林の整備と伐採木を使ったキノコの植菌 ②粘着材塗布によるカシナガ被害の予防
17	雑木囃子	代表 石崎 千鶴子	雑木囃子の森／森林整 備と子ども達への心の教 育の場作り	①カシナガ被害木の伐採などの森林整備 ②カシナガ被害木を利用したキノコ植菌など森林環境教育
18	あそあそ自然学校	代表 谷口 新一	森の恵みを知るエコツ アー	南砺市桜が池周辺森林で小学生を対象とした環境教育
19	NPO 南砺の山々を守る実行委員会	代表 桃野 忠義	南砺の山々を守る炭焼	①カシナガ被害木を伐採し、その被害木を炭焼き ②被害木の伐採跡地でボランティアによる植樹イベント開催
20	閑乗寺公園の会	会長 片桐 貞夫	閑乗寺公園内で炭焼き し、八乙女山の被害木利 用	①カシナガキクイムシ等の被害木の伐採 ②被害木を利用した炭焼き体験会の実施
21	トウトウ 瞳々の会	藤井 貢	荒廃した森林と公園遊歩 道の整備・復旧作業	東海北陸道開通に伴う事業委託による人員不足のため辞退
22	Kid's Eco Project実行委員会	代表 辻下 孝司	Kid's Eco Project ～子供の僕たち、私たち にも出来ること～	開催を予定していた会場と調整がつかず、辞退